

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
<p style="text-align: center;">すごろく ～お金の学習～</p>	高	合科 Ⅱグループ (数学)	

<ねらい>

- ・ゲームを楽しみながら金種やお金の計算が理解できるようになる。
- ・支払う側、受け取る側の両方の経験を重ね、概算で支払いができるようになる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・すごろくは、はじめは教師が作った「ラーメンを食べました -680円」「おこづかいをもらいました +1000円」などのマスを使用して行ったが、授業を何度か経験した後に生徒にもマスを書いてもらった。(自分たちで作ったものを使うことで楽しめることはもちろん、支払う機会、受け取る機会、金銭感覚などを身に着けるため)
- ・すごろくは手作りだが、実生活での使用方法に近づけるため、硬貨、トレー、計算機、コインBOXなどは本物を使用した。(紙幣はおもちゃのものを使用)
- ・すごろくのマスは、一人一人に読みやすいようにタックメモを貼る形で作成した。(向きを変えたり、手元に近づけてみるができる)
- ・意欲を高めるため、駒には好きな字やイラストを一人一人に描いてもらった。
- ・毎時間、誰か一人にレジ係(計算機使用)をしてもらった。
- ・すごろくをするだけでなく、プリントやお金の教材を使った学習も時間内に行い、金種、お金の数え方などの知識の定着を図った。



硬貨、おもちゃの紙幣、トレー、計算機



黒板掲示用の教材



すごろく



サイコロ、手作りの駒

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・本物のお金などを使ったことで、生徒たちの意欲が上がったように感じた。
- ・ゲームにすることで、自分の番を楽しみにしながら積極的に参加していた。また、状況によって、お金を支払ったり、受け取ったりする経験を得ることができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

模造紙、タックメモ、駒の木材、トレー、計算機、コインBOX、おもちゃの紙幣など全てダイソー商品。1000円前後